

学年	高校2年	教科	地歴公民
コース	本科/ICS	科目	日本史B
時間数	4時間/週		

### 重視したいコンピテンシー

① 探究心	教科書に記載されている歴史的事項について、絶えず問いを見出し、歴史の本質を追究しようとする。
② 異文化理解	日本史の学習を通じて、現代の国際社会で起こっている諸問題について興味・関心を持つようとする。
③ 創造性	日本史の学習を通じ、現在起こっている諸問題の解決策や、未来に起こり得る問題を予測し、仮説を立てようとする。

3	①単元の内容を要約できる ②単元の内容を要約したことを説明できる	①2つ以上の事象の共通点・相違点をふまえ、事象の特徴を説明できる ②原因・結果をふまえ、その歴史的意義を説明できる	①C2の①の仮説を検証する ②C2の②の仮説を検証する ③未来に起こりえる問題を解決するための仮説を立てることができる。
2	①重要な歴史用語の説明ができる。 ②歴史事項の流れを理解できる →〈時代整序〉 ③単元内容を理解できる →〈正誤判定〉	〈B①をふまえ・・・〉 ①2つ以上の事象との共通点・相違点を説明できる ②歴史事象の原因を説明できる。 ③歴史事象の結果を説明できる。	①C1の①の問いに対する仮説を立てることができる ②現代の課題を解決するための仮説を立てることができる ③現在の課題をふまえ、未来に起こり得る問いを立てることができる。
1	①問いに対し、歴史用語を的確に答えることができる。	①資料の内容を読み取り、内容や特徴を説明できる。 ②時代の前後の関連性に気づける。 ③同一時代の異なる2つ以上の事象(地域など)の関連性に気づける	①単元を通して、新たな問いを立てることができる。 ②歴史事象をふまえ、現代の諸課題との関連性に気づくことができる。
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	第I部 原始・古代	●人類の誕生から更新世・完新世へとすすんだ日本の社会の過程を理解する。 ●律令国家の形成がどのように成立したのかを理解する。 ●支配層としての貴族政治の変遷と貴族文化について理解する。	●講義形式授業 ●グループワーク
	5	第1章 日本文化のあけぼの		
	6	第2章 律令国家の形成		
	7	第3章 貴族政治と国風文化		
2	9	第3章 貴族政治と国風文化	●武家政権が生まれ封建制度が確立していく過程を理解する。 ●中世後期における武家政権が東アジアとの外交、社会の変動とともに変化していく過程を理解する。	●講義形式授業 ●グループワーク
	10	第II部 中世		
	11	第4章 中世社会の成立		
	12	第5章 武家社会の成長		
3	1	第III部 近世	●ヨーロッパにおけるルネサンス・宗教改革・大航海時代と日本における幕藩体制の確立についての関係性を理解する。	●講義形式授業 ●グループワーク
	2	第6章 幕藩体制の確立		
	3	〃		